

# 2019年度第3回（第31回） プロセス化学会東四国地区フォーラム

主催 日本プロセス化学会 東四国支部

## 1. 核酸医薬の有効性と安全性を向上させる新規分子技術

和田 猛 先生

（東京理科大学薬学部生命創薬科学科 教授）

## 2. 異端は認められた瞬間に先端に変わる

—特殊ペプチドからネオバイオロジクスへ—

菅 裕明 先生

（東京大学大学院理学系研究科化学専攻有機化学講座 教授）

日時：2020年1月11日（土）14時～16時15分

場所：徳島大学総合科学部1号館301講義室（常三島キャンパス）

若手研究者、院生、学生を対象とした講演会で、プロセス化学の醍醐味、重要性を学ぶ会です。多くの大学院生、学部学生、教職員ならびに企業の研究者のご来聴を歓迎します。講演会の後、15件程度のポスター発表を受け付けます。発表をご希望される方は12月26日（木）までにお申し込みください。詳しくは日本プロセス化学会ホームページ <[http://www.jspc-home.com/in\\_forum.html](http://www.jspc-home.com/in_forum.html)>をご覧ください。

また講師の先生とフォーラム幹事を交えた懇親会（16時30分～18時：一般1000円、学生500円）を行いません。奮ってご参加下さい。

連絡先：角田鉄人（幹事：徳島文理大学薬学部）E-Mail: [tsunoda@ph.bunri-u.ac.jp](mailto:tsunoda@ph.bunri-u.ac.jp)

代表幹事：央戸宏造（徳島大学名誉教授）

幹事：安芸晋治（大塚製薬）、石川文博（伏見製薬所）、小池晴夫（徳島文理大学）、  
笹岡三千雄（ラベニール3000）、角田鉄人（徳島文理大学）、難波康祐（徳島大学）、  
増井義之（シオノギファーマケミカル）、南川典昭（徳島大学）、三好徳和（徳島大学）、  
小笠原正道（徳島大学）、アドバイザー：外輪健一郎（京都大学）